

月刊 SYN かわら版

さいたまYEGニュース

■目次

P. 1
清宮プロ長語る！！
春会議の報告と御礼
7月事業 ご案内

P. 2
関プロ チャレンジ SA I
キャラバン隊が行く



さいたま商工会議所青年部
Young Entrepreneurs Group



関東ブロック商工会議所
青年部連合会会長
清宮 治樹

「先日の春会議では、関東全域から多くの方をさいたまにお迎えしました。他方で、「関東ブロック」がさまざまな活動をしているが、良く知らないメンバーも多いかもしれません。」

日本全国を九つのブロックに分け、茨城、

千葉、神奈川、栃木、静岡、群馬、山梨、埼玉で構成されているのが関東ブロック。七十九単会、会員約七千名の連合体です。近年、委員会をつくり、会員に対して情報発信や、交流、研修活動を活発に行なっておりま。先日の春会議では、本年度の予算や、事業計画について役員会、総会で審議をしました。

そして、ブロック大会は、八県連の輪番、さらに該当県連内での協議により決定するもので、百年に一度開催できるかわからない、さいたまYEGにとっても歴史的な大会なのです。

「他の単会のメンバーと知り合う機会も多いと思います
が、改めて感じることはありますか。」

それぞれ地域、環境は違えど、地域を愛する心、次代の先導者としての気概が強く伝わり、『同じ仲間なんだ』と感じます。さいたまYEGは日本一の会員数で有名な単会です。他単会との交流がチャンスになると思います。

清宮プロ長語る！！

春会議の報告と御礼

小木曾対外委員長からのメッセージ

「6月18日の土曜日に「関東ブロック大会商工会議所青年部連合会 役員会・定時総会・会長会議」がソニックシティなどで開催されました。

北海道から沖縄まで2993名におよぶ全国のYEGメンバーが集結しました。当会は120名以上のメンバーが設営と運営の為に朝9時の受付準備から二次会終了の午後10時まで全員一丸となって来場者を「おもてなし」するべく参加しました。ご参加いただいた皆さん本当にお疲れさまでした。今回都合のつかなかった方も秋の本大会は是非ご参加下さい。」

広報委員会も参加させていただきました。本当に一丸となって「おもてなし」できたと思っております。それぞれ課題や疑問点もあったと思いますが、本大会もみんな頑張りました。



7月事業ご案内

「浦和おどろきのお知らせ」

今年も浦和おどろきがやっています。

さいたま小町と楽しく踊りましょう。

◆会場 ……旧中山道さいたま市前から5分ほど草通の間

◆集合場所…市民会館うらわ 1階ロビー

◆開催時期…7月17日(日) 14時半集合

◆練習会 ……7月5日(火) 7月11日(月)

さいたま商工会議所会館(浦和) 2階会議室
19:30～

◆担当委員会 総務委員会

「浦和おどろきは決して難しく振り付けではありません。一回でも練習にご参加いただければ楽しく踊っていただけますので是非ご参加ください。また今年はいよいよ浦和のお二人にもご参加いただく予定です。さいたまから元気を発信するため、多くのみなさまのご参加を心よりお待ちしております。」(浦和おどろき連長 岡和田総務委員長)

「ブロック長としての今年の抱負は？」

約七千名の会員に関東ブロック連合会を知ってもらい、本年度のブロック大会では、過去にない登録人数で開催したいですね。

「清宮プロ長といえば「から揚げ」のイメージがありますが、最近のお気に入りは何ですか？」

もちろん、「から揚げ」大好きですよ。ただ、体のことを考えると……。

私の女房役(関プロ運営専務)に先日、盆栽キットを頂きましたので、盆栽を育てる事に夢中です。秋の大会時には立派な盆栽を皆にお見せできると思います。

「最後に、会員の皆さんへメッセージを。」

大会開催は、仲間との絆を深め、他単会メンバーとの交流を図り、地域の発展へ繋げるものと考えます。商売や家庭のことで、忙しい毎日を送っていると思いますが、皆と一緒に汗を流し感動を得ましょう。

さいたま大会は、東日本大震災で被災されたYEGの仲間たちに対して、『関東から元気を送る』という大きな意味を含めた大会になると考えています。被災された仲間たちを元気づけ、東北、日本中を元気にしましょう。

関ブロチャレンジSAI

第二回 交流委員会

川上 淑宏 委員長
遠藤 貴輝 副委員長
松崎 龍二 副委員長

さて第2回目以降の「関ブロチャレンジSAI」ではロック大会の催し物を皆さんにご紹介していきたく思っております。交流委員会さんでは第1と第2の分科会を担当しております。

第1分科会は「日本三奴再び?」をテーマに岩槻黒奴復活を中心に岩槻の歴史や魅力をアピールする。観光資源の発展についての勉強会です。

第2分科会は「もうかりやっこで商売繁盛」をテーマにキャラクターをつかった町おこしを行い、その経緯、実績や展望を発表する。地域振興の手法についての勉強会です。「二年間準備してきた土壇場でバタバタと出来上がりました。まだまだ足りない所ばかりなので「おもてなし」という部分でパワーアップさせて東国原さんに負けない分科会にしたいと思えます。第1分科会からさいたまの歴史と文化を発信します。」遠藤 貴輝 副委員長

「キャラクターの認知活動を中心にした、きっと一番手作りの分科会です。いままで各イベントで積み重ねてきた事を二人でも多くの関東のメンバーの方に聞いていただいて地域の活性化の一助になればいいという熱い思いでやっています。一人でも多くの方の前で披露したいです。」もうかりやっこ」を使ってみませんか?大会後も認知活動をおこなっていく協力メンバー募集中です。」松崎 龍二 副委員長

「二年間積み重ねてきた想いがそれぞれあるので基本的に副委員長にお任せです。最後の隠し球もあるのでお楽しみに!」川上 淑宏 委員長
という言葉をお聞きしました。

記者も交流委員会さんに参加してきました。岩槻支所で熱く語りあっていました。懇親会直行コースもいろいろ、こんな委員会も緊張感があっという間です。(広報委員会もいろいろで委員会やっています。居酒屋さんですけど。)

さて、次回は商売繁盛委員会 第3分科会(サッカー) 第4分科会(鉄道博物館) 第5分科会(ビジネス交流会) 特別事業(さいたま小町)の予定です。

拡大版でお送りします。お楽しみに!



特別寄稿「キャラバン隊が行く」

関東ブロックキャラバン 無事終了

4月12日の狭山を皮切りに、関東各地を巡った関東ブロックキャラバン隊は、6月4日の浜松をもって無事全ての行程を終了いたしました。広報委員会一同、改めて皆様のご協力に深く感謝します。

さて、本号では、キャラバンの終了を記念して、筆者の独断と偏見に基づく寄稿「心に残ったキャラバンベスト3」をお届けしたいと思います。

第三位 川口キャラバン(4・26)

～ホスピタリティ～

キャラバン隊が現地に到着してまず行うことは、はっぴのほり、横断幕の準備です。いつもは会場の外廊下で行うのですが、この日は、キャラバン隊の控室と共にコーヒー&軽食までもが用意されていました。これには「同大感激!」キャラバン終了後には、川口メンバー数名が懇親会にも足を運んで下さり、交流を深めることができました。川口YEGでは女性会員も大活躍中!そのためもあるのでしょうか。一つ一つの対応に優しく、でも気取らない、おもてなしの心を感じました。関ブロ当日、是非こんなフレンドリーな雰囲気です。関東の人々をお迎えしたい!そう感じた一日でした。

第二位 宇都宮キャラバン(5・26)

～当地名物～

無事キャラバンを終えたあと、皆で食事に向かう。宇都宮といえはやっぱり餃子!お店の名物「2種類の餃子」を賞味する。美味しいのだが判別できたのは「チーズ」と「激辛」のみ。これ見よがしに貼ってあるテレビ取材のポスターも若干古めで「ミニスカポリス」でもいいんですけど、なんでもお構いなしに、「名物」というそれだけで、何故かこちらも心躍る。全国各地には無数の「名物」があり、我々キャラバン隊も浜松のうなぎ、海老名SAのメロンパンなど、多くの名物と出会ってきました。近時は各地でB級グルメが大人気です。いつの日か、「さいたまでございませう」ができるものか、そう感じた一日でした。

第一位 本庄キャラバン(5・6)

～単体会 それぞれの雰囲気～

埼玉県内YEGは全部で13単会。今回のキャラバンではこれらをくまなく回り、その中行田・本庄・深谷など、比較的少人数でアットホームな単会の雰囲気にも触れることができました。キャラバン隊と、総会参加者人数がほとんど変わらず、青いのぼり旗が会場をぐるりと囲んだことも。新興住宅地の性格が強いさいたま市に対し、古くからの歴史をもつこれらの単会では、総会、懇親会の趣もことごとく異なっており、「古き良き時代」の香りを残していました。親会である商工会議所の歴史は古く、明治11年、東京・大阪・神戸に「商法会議所」としてスタートしたことに遡ります。その後、地域経済の発展を担うとの公共性から認可法人となり、各種相談事業や検定事業を行う団体に成長してきたことには、存知のとおりです。他の単会の雰囲気に触れ、YEG活動の原点を考える。そんなまじまじの一日となりました。